

平成 27 年度第 2 回
新巖木高校
設置準備委員会
(資料)

平成 27 年 8 月 17 日
佐賀県教育委員会

目次

	頁	
資料 1	新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画 (第1次)第1回新高校設置準備委員会報告まとめ・・・・・・・・・・	1
資料 2	めざす学校像・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
資料 3	新巖木高校の教育内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
資料 4	新高校設置準備委員会設置要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
資料 5	新巖木高校設置に向けた検討体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・	22
資料 6	新巖木高校設置準備委員会委員構成・・・・・・・・・・・・・・・・	23

資料1 新たな生徒減少期に対応した佐賀県立高等学校再編整備実施計画（第1次）

第1回新高校設置準備委員会報告まとめ

1 開催日時・場所等

地区及び再編対象校	開催日時・場所	委員
杵島地区 ・ 白石高校 ・ 杵島商業高校	平成27年 5月26日(火) 10時～11時25分 白石高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 12人 県教育委員会関係委員 8人
伊万里地区 ・ 伊万里農林高校 ・ 伊万里商業高校	平成27年 5月27日(水) 15時30分～17時 伊万里農林高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 7人 県教育委員会関係委員 8人
唐津地区 ・ 厳木高校	平成27年 5月28日(木) 9時30分～11時 厳木高校 同窓会館	学校関係委員 3人 地域関係委員 5人 県教育委員会関係委員 9人
嬉野地区 ・ 塩田工業高校 ・ 嬉野高校	平成27年 5月28日(木) 15時～16時30分 塩田工業高校 視聴覚室	学校関係委員 4人 地域関係委員 10人 県教育委員会関係委員 8人
鹿島地区 ・ 鹿島高校 ・ 鹿島実業高校	平成27年 6月1日(月) 15時～16時35分 鹿島高校 同窓会館	学校関係委員 4人 地域関係委員 11人 県教育委員会関係委員 8人

2 主な意見等

地区	主な意見等
杵島地区	<ul style="list-style-type: none"> 校舎制は初めての取組でイメージがわきにくいですが、先進的な事例も踏まえた具体的な提案をお願いしたい。 新高校に関する議論と並行して、現在の杵島商業高校、白石高校の生徒の今後に関して、意見を言う場を作ってほしい。 全国と比べて、佐賀県は普通科の比率が低い。グローバル化や産業技術の高度化への対応において、基礎基本の学力の重要性を踏まえて新高校を作ってほしい。 今までにない夢のある学校、生徒が集まるような学校をイメージしてほしい。
伊万里地区	<ul style="list-style-type: none"> 両校を合わせれば、他に類を見ない、おもしろい学校になると思う。卒業生がなるべく地元に残るような実業高校ができればと思う。 単位のとり方について、商業科の生徒が農業科の事も学べるようなカリキュラム編成ができれば、(新高校としての)個性が出せると思う。 人材育成については、地域ニーズを分析することが必要である。 進学する高校を選択するときに、部活動で選ぶ子どももいる。再編によって部活動の選択幅がひろがるのではないかな。

地区	主な意見等
唐津地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校は卒業後の進路保障が大事である。太良高校のようにキャリア教育の推進に重点的に取り組む必要がある。 ・ 地域に根ざした学校に、地域住民がどういった手伝いができるか、その方向性を検討する必要がある。 ・ 発達障害の生徒を指導できる教員の育成も重要である。 ・ 参考とするために、既に取組を行っている太良高校を視察させてもらいたい。
嬉野地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再編後、更に定員が1クラス減ることを踏まえたビジョンが必要だ。 ・ 再編後の学校を新しい学校としてみてもらわなければならない。校舎制により、足して2で割るのではなく、両校が合わさることでの相乗効果を求めていきたい。 ・ 例えば、工業系列を持つ校舎制の総合学科で、部活動はそれぞれの校舎で分けて実施するとし、市はこれに対して支援を行うというような構想を作っていければと思う。 ・ 地域創生の時代であり、地域の特性を生かし、地域人材を育成できればと思う。
鹿島地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新高校の1クラスの定員を、少人数クラス編制にすることは考えられないか。 ・ 両校の目標である進学と就職両面の充実をいかに図っていくかが最重要事項である。その上で学校としての整合性を保たなければならない ・ 「当面、校舎制」とあるが、できるだけ早く1つの校舎で学ばせてほしい。人間教育にもつながる。 ・ (高校受検で)学科ごとに第1、第2希望と選べるならば、生徒の選択の幅が広がる。部活動も、質・量ともに充実し、魅力となる。

めざす学校像

1 現巖木高校の校訓・教育目標等

(1) 校訓

文言	「若杉の訓(おしえ)」 節義、理想、生气、忍耐、敬愛、奉仕 若杉のように理想という大空に向かって、 ともに手を取り合い、大きくまっすぐ 育ち、常に 若さと情熱 を失わず、 自らを誇らず 、どんな 苦しきをも乗り越え 、 心豊かな 人材であれ
キーワード抽出	節義(節操と道義。人としての正しい道を踏み行うこと。) 理想(人が心に描き求め続ける、それ以上望むところのない完全なもの。そうあってほしいと思う最高の状態。) 生气(いきいきとした感じ。活気。) 忍耐(苦難などをこらえること。) 敬愛(尊敬し、親しみの心を持つこと。) 奉仕(利害を離れて国家や社会などのために尽くすこと。) ともに手を取り合い 大きくまっすぐ 若さ 情熱 自らを誇らない【(類)謙虚、恭謙】 苦しきを乗り越え【=忍耐 (類)辛抱、我慢】 心豊かな

()内は辞書の意味

(2) 学校教育目標

文言	社会に貢献 できる 心豊かな 人材の育成
キーワード抽出	社会に貢献 心豊かな人材

(3) 学校経営ビジョン

文言	【スローガン】 “ 夢は叶う、夢が叶う ” 「あいさつ」「ボランティア活動」「部活動の活性化」「学力向上」を学校教育目標達成の柱とし、全教育活動をとおして、節義、理想、生气、忍耐、敬愛、奉仕 を育成する。 自由闊達な雰囲気をつくり、教職員が「やりがい」を感じる学校づくりに取り組む。 地域・保護者に 愛され 、そして 信頼される 地域に根差した 学校づくりに取り組む。
キーワード抽出	夢 愛される 信頼される 地域に根差した

2 『太良高校改編計画』における太良高校のめざす学校像

文言	多様な選択科目や単位認定により、生徒の 個性や可能性を引き出し伸ばす 学校 ICT教育の充実や少人数によるきめ細かな指導により、生徒に 確かな学力を身につけさせる 学校 キャリア教育の充実により、生徒の 主体的な進路選択を支援 する学校 様々な体験的活動により、 社会性や他人を思いやる心 を身につけた生徒を育てる学校 地域や家庭と連携し 、共に歩む学校
キーワード抽出	個性を引き出し伸ばす 可能性を引き出し伸ばす 確かな学力 主体的な進路選択を支援 社会性 他人を思いやる心 地域や家庭と連携

3 第1回設置準備委員会での意見より

意見（キーワード抽出）				
進路保障 多様 個別対応	キャリア教育 地域活性化	資格取得 地域資源	全人教育 地元意識	部活動活性化 多様性を受容する力

4 キーワード比較

(1) 教育目標に関するもの（ を目指す。 を行う）

巖木高校	太良高校	意見
<ul style="list-style-type: none"> ・社会に貢献できる人材の育成 ・心豊かな人材の育成 ・地域に根差した学校づくり ・信頼される学校づくり ・地域・保護者に愛される学校づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性を引き出し伸ばす ・可能性を引き出し伸ばす ・確かな学力を身につけさせる ・主体的な進路選択の支援 ・社会性を身につけた生徒を育てる ・他人を思いやる心を身につけた生徒を育てる ・家庭や地域と連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路保障 ・キャリア教育 ・資格取得 ・全人教育 ・個別対応 ・部活動活性化 ・多様性を受容する力
共通要素		
地域・保護者と連携 （地域・保護者に愛される、信頼される、地域に根差した） 社会に貢献できる人材の育成 （確かな学力、主体的な進路選択、社会性を身につけさせる、進路保障、キャリア教育、資格取得） 心豊かな人材の育成 （他人を思いやる心、多様性を受容する力、全人教育） 個々に応じた教育 （個性や可能性を引き出し伸ばす、主体的な進路選択、個別対応）		

(2) 育成したい人材に関するもの（ 人材）

巖木高校	太良高校	意見
<ul style="list-style-type: none"> ・社会に貢献できる ・ともに手を取り合う ・大きくまっすぐ育つ ・若さと情熱を失わない ・自らを誇らない ・苦しみを乗り越える ・心豊かな ・理想に向かう ・奉仕する 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人を思いやる ・社会性を身につけた ・確かな学力を持った ・主体的に進路を選択できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元意識 ・多様性を受容する ・多様
共通要素		
心豊かな （大きくまっすぐ、自らを誇らない） 成長する （苦しみを乗り越える、理想に向かう） 自己実現をはかる （確かな学力を持つ、主体的に進路を選択、社会性を身につける） 社会（地域）に貢献する （奉仕する、ともに手を取り合う、地元意識） 他者を認め合う （ともに手を取り合う、他人を思いやる、多様性を受容する）		

5 めざす学校像（案）

【A案】

自然豊かな環境の中で、地域と連携し、個々に応じた教育や支援により生徒の個性や可能性を引き出し、社会に対応できる礼儀やマナーを身につけ、自己実現に向かって絶えず自らを成長させ、地域や社会に貢献できる心豊かな思いやりのある人材を育成する。

【B案】

自然豊かな環境の中で、地域と連携し、個々に応じた教育や支援により、次のような学校をめざす。

多様な選択科目や柔軟な単位認定により、生徒の個性や可能性を最大限に引き出す学校。

充実したキャリア教育や様々な体験活動により、時代や環境の変化に柔軟に対応できる力を育む学校。

郷土の文化や風土の学習を通して、郷土を愛し地域に貢献しようとする意欲を持った人材を育成する学校。

互いの個性を理解し尊重することで、他人を思いやる優しい心と豊かな人間性を育む学校。

6 その他の検討

(1) キャッチフレーズの検討

例：太良高校

「HOT School (ホット スクール)」

(H=hope、 O=only one、 T=try)

“希望を持ち、かけがえのない自分を見がき、未来に向けて努力する学校”

【太良高校学校通信のタイトルバナー】



(2) マスコットキャラクター (イメージキャラクターの検討)

例：太良高校イメージキャラクター みかんの「みーくん」



新蔵木高校の教育内容

1 新蔵木高校の教育内容検討についての考え方

現在の太良高校の特色ある取組を基本とした上で、蔵木高校における教育課題や地域の特性・要望等を勘案して検討を行う。

2 教育内容の検討

(1) 太良高校における特色ある教育

単位制

- ア 多様な選択科目の設定（後述(2)教育課程で検討）
- イ 履修モデル（後述(2)教育課程で検討）
（太良高校の場合は情報・ビジネス系、生活・福祉系、芸術・スポーツ系、教養・演習系）
- ウ 必修科目のほとんどは1, 2年次に履修。後半は選択科目
- エ 卒業要件単位： 74 単位
- オ 各種検定、学校外における学修の単位認定
- カ 2学期制（半期認定科目の設定）

体験的な学習（地域で育むキャリア教育）

ア 体験学習

【太良高校における実施例：週3時間 4コース】

体験コース	前期（4月～9月）	後期（11月～3月）
介護福祉コース	グループホーム	特別養護老人ホーム
サービスコース	物産品販売所	旅館
農業コース	観光農園	みかんジュース加工の事業所
林業・漁業コース	営林の事業所（森林組合）	海産物加工の事業所（漁協）

- イ 専門講師の招聘授業（手話、栽培体験、郷土学習、有明海学）
- ウ インターンシップ（夏休み中 2年次、企業・商店等で実施）
- エ ボランティア（選択科目「奉仕」）

「できる授業」の実践（ICT教育）

- ア 学習活動の見通しを持たせる
- イ 視覚教材（ICT機器）の積極的な活用
- ウ 互いに学び合う場の設定（グループ学習等）

生徒支援（充実した支援体制）

ア 少人数教育

- ・ 全県枠の1年次は1クラス20人
- ・ 2年次以降は学区枠の生徒と混合クラス

イ ティームティーチング（TT）の導入

ウ リメディアル教育（学び直し）

- ・ ベーシック科目の設定（コミュニケーション英語基礎、ベーシック数学）
- ・ eラーニングシステム（自宅PC、スマートフォンで利用可）

エ 教育相談

- ・ 環境整備（教育相談室 ほっとるーむ、健康相談室、面談室、学習支援室を設置）
- ・ スクールカウンセラーの重点配置（心療内科医師の定期相談日も設定）

オ ユニバーサルデザイン

- ・ 授業（授業の進め方、チョークの色使い、スライドの配色）
- ・ 学習環境、施設（教室の環境統一、机・いすの防音対策、遮光カーテン、全教室空調）

カ 通学支援（県内全域からの通学を可能とするため、始業時間に配慮 後述(3)校時で検討）

キ ホームステイ相談窓口の設置

- ・ 公共交通機関での通学が困難生徒に対し、太良町教育委員会が窓口となって、ホームステイ受け入れ先の斡旋及び費用補助を行う。

(2) 新蔵木高校の教育課程

検討事項

- ア 20～30人程度、展開授業等、少人数での授業展開
- イ 選択科目（学校設定科目）の設定
 - ・ 中学時の内容の学び直しから、国公立大学等まで対応できる科目設定
 - ・ 職業科目、資格取得関連科目やコンピューター関連科目など、多様な選択科目を設定
 - ・ 心身の健全な育成や社会的自立への取り組み支援等のため、ボランティア活動や体験学習等、校外学習活動を設定
- ウ 履修モデルの設定
- エ 必修科目、選択科目の科目履修の時期
- オ 就業体験やスポーツ文化活動、技能審査の成果などによる多様な単位認定
- カ 2学期制に基づく半期認定科目の設定

設定予定科目（案）

- ア 必履修科目（ は選択必履修）

国語総合	世界史A	日本史A	地理A	現代社会	数学
科学と人間生活	化学基礎	生物基礎	物理基礎	体育	保健
音楽	美術	書道	コミュニケーション英語	家庭基礎	社会と情報

- イ 選択科目

現代文B	古典B	国語表現	日本語教養	文字・言語力基礎	日本史B	世界史B			
地理B	地歴演習	数学	数学	数学A	数学B	数学基礎	物理	化学	生物
*自然と実験	音楽	美術	書道	コミュニケーション英語	英語表現				
英語表現	ビジュアル英語	実用英語	生活学	家事入門	生活教養				
簿記	簿記演習	ビジネス基礎	情報処理	ビジネス情報	ICT活用基礎				
パソコン演習	子どもの発達と保育	生活と福祉	服飾手芸実習	食生活演習					
体験スポーツ	ニュースポーツ	音楽演習	エンジョイミュージック	素描					
ビジュアルデザイン	*クラフト	書道演習	実用書道						

- ウ 体験的な科目

秘書実務	マーケティング実習	マルチメディア実習	サーベイ・オブ・スポーツ	
*ボランティア	*郷土学習	*栽培体験	*体験学習	佐賀の言語と文化
知識及び技能審査	スポーツ・文化活動			

_____は学校設定科目。*は半期認定科目（予定）

新巖木高校設定予定科目(案)

情報・ビジネス系科

簿記 簿記演習
 ビジネス基礎
 情報処理
 ビジネス情報
 ICT活用基礎
 パソコン演習

芸術・スポーツ系科目

音楽Ⅱ 美術Ⅱ
 書道Ⅱ 音楽演習
 エンジョイミュージック
 素描 ビジュアルデザイン
 クラフト 書道演習
 実用書道
 体験スポーツ
 ニュースポーツ

生活・福祉系科目

生活学 家事入門
 生活教養
 子どもの発達と保育
 生活と福祉
 服飾手芸実習
 食生活演習

教養・演習系科目

現代文B 古典B 国語表現
 日本語教養 文字・言語力基礎
 世界史B/日本史B/地理B 地歴演習
 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A 数学B 数学基礎
 物理 化学 生物 自然と実験
 コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ
 ビジュアル英語 実用英語

国語総合
 世界史A
 日本史A/地理A
 現代社会
 数学Ⅰ
 科学と人間生活
 化学基礎/生物基礎
 /物理基礎
 体育 保健
 音楽Ⅰ/美術Ⅰ/書道Ⅰ
 コミュニケーション英語Ⅰ
 家庭基礎
 社会と情報

必修科目

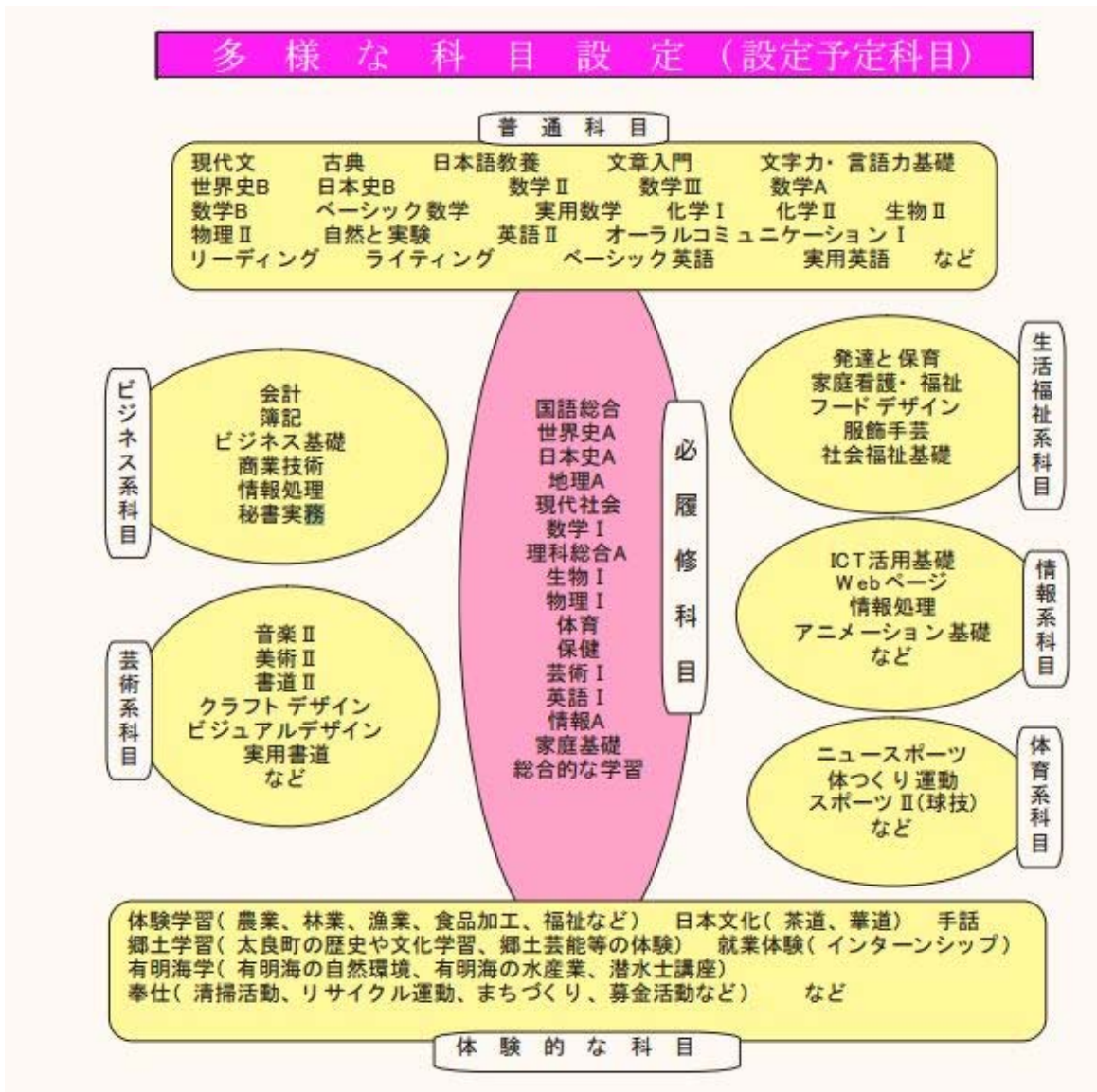
秘書実務 マーケティング実習 マルチメディア実習
 サーベイ・オブ・スポーツ ボランティア 郷土学習 栽培体験
 体験学習 佐賀の言語と文化 知識及び技能審査 スポーツ・文化活動

体験的な科目

※____は学校設定科目

<参考>

太良高校 H22.3 太良高校改編計画時の科目設定（予定）



学校外における学修に係る単位認定

次の場合に単位認定する。

ア 大学、高等専門学校又は専修学校の高等課程若しくは専門課程における学修、その他の教育施設等における学修

イ 知識及び技能審査に係る学修
在学中に（別表１）に示した検定等を取得した場合

（別表１）

	検定名	主催	級	認定単位	
知識 及 び 技 能 審 査	危険物取扱者	総務省	乙種４類	１単位	
	日本語ワープロ検定	日本情報処理検定協会	初段	２単位	
			１級	２単位	
				２級	１単位
	電卓技能検定	日本電卓技能検定協会	１級	２単位	
			２級	１単位	
	情報処理技能検定	日本情報処理検定協会	１級	２単位	
			２級	１単位	
	実用英語技能検定	日本英語検定協会	準１級	５単位	
２級			４単位		
準２級			３単位		
３級			２単位		
日本漢字能力検定	日本漢字能力検定協会	２級	２単位		
		準２級	１単位		
		３級	１単位		
硬筆書写検定	日本書写技能検定協会	２級	１単位		
毛筆書写検定	日本書写技能検定協会	２級	２単位		

ウ ボランティア活動

- ・ 学校設定科目「ボランティア」を修得した場合

エ スポーツ又は文化に関する活動

- ・ 在学中に、高体連、高野連、高文連等主催の大会で、高等学校教育に相当する水準の結果を残した場合

就業体験（インターンシップ）や（別表１）以外の知識及び技能審査についての単位認定についても検討する。

< 参考 > 現蔵木高校教育課程表

平成26年度 実施教育課程表
(平成26年度入学生)

課程名＝全日制

学科名＝普通科

佐賀県立蔵木高等学校

教科	科目	標準単位	1年	2年	3年	単位数計	2年	3年	単位数計	備考
				Aコース(進学)			Bコース(就職)			
国語	国語総合	4	5			5			5	地理歴史○印と◎印は選択で、2,3年次継続履修。 2年Aコース(進学)の数学Aは10月まで実施し、その後数学Ⅱを実施。 3年Aコース(進学)の数学Ⅱは9月まで実施し、その後数学Bを実施。 3年次理科と公民の◇印は、化学、生物、地学、政治・経済のいずれか1科目を選択。 理科2年次の□印はいずれか1科目を選択、3年次の■印は2年次に選択しなかった科目を選択。 芸術△印は1年次に音楽Ⅰか美術Ⅰを選択。3年次▲印では1年次に音楽Ⅰ履修の者は音楽Ⅱを、美術Ⅰ履修の者は美術Ⅱを選択。3年Bコースでは音楽Ⅱと美術Ⅱ、ビジネス基礎のうちいずれか1科目を選択。 #学校設定科目として知識及び技能審査を設定する。検定等の内容に応じて単位数が加算される。 <内容> ●危険物取扱者 ・乙種4類＝1単位 ●日本語ワープロ検定 ・初級＝2単位 ・1級＝2単位 ・2級＝1単位 ●実用英語技能検定 ・準1級＝5単位 ・2級＝4単位 ・準2級＝3単位 ・3級＝2単位 ●日本漢字能力検定 ・2級＝2単位 ・準2級＝1単位 ・3級＝1単位 ●硬筆書写技能検定 ・2級＝1単位 ●毛筆書写技能検定 ・2級＝2単位 ●電卓技能検定 ・1級＝2単位 ・2級＝1単位 ●情報処理技能検定 ・1級＝2単位 ・2級＝1単位
	国語表現	3				0		3	3	
	現代文B	4		2	3	5	4	2	6	
	古典B	4		2	2	4			0	
地理歴史	世界史A	2	2			2			2	
	日本史B	4		○	◎	0.6	○	◎	0.6	
	地理B	4		○	◎	0.6	○	◎	0.6	
公民	現代社会	2		2		2	2		2	
	政治・経済	2			◇	0.3		2	2	
数学	数学Ⅰ	3	5			5			5	
	数学Ⅱ	4		2	2	4		3	3	
	数学A	2		2		2	3		3	
	数学B	2			2	3	2		0	
理科	科学と人間生活	2				0		2	2	
	化学基礎	2	3			3			3	
	化学	4				0.3			0	
	生物基礎	2		□	■	2.3	2		2	
	生物	4		□	■	0.3			0	
	地学基礎	2		□	■	2.3			0	
	地学	4				0.3			0	
保健体育	体育	7～8	3	3	3	9	3	3	9	
	保健	2	1	1		2	1		2	
芸術	音楽Ⅰ	2	△			0.2			0.2	
	音楽Ⅱ	2			▲	0.2		▲	0.2	
	美術Ⅰ	2	△			0.2			0.2	
	美術Ⅱ	2			▲	0.2		▲	0.2	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3			3			3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4		3	3	6	3	3	6	
	英語表現Ⅰ	2		2	2	4			0	
	英語会話	2	2			2			2	
家庭	家庭総合	4		2	2	4	2	2	4	
情報	社会と情報	2	2			2			2	
普通教科小計			28	27	29	84	23	23,25	74,76	
商業	ビジネス基礎	2～4				0		▲	0.2	
	ビジネス実務	2～4				0	4	②	4.6	
	情報処理	2～4				0		2	2	
家庭	フードデザイン	2～6				0		②	0.2	
教養	環境	2				0		②	0.2	
	社会人基礎	2				0		②	0.2	
	素描基礎	2				0		②	0.2	
	ボランティア	2				0		②	0.2	
専門教科小計			0	0	0	0	4	4.6	8,10	
校外学習活動	知識及び技能審査	1～17								
総合的な学習の時間			1	2		3	2		3	
ホームルーム活動			1	1	1	3	1	1	3	
履修単位数合計			30	30	30	90	30	30	90	

< 参考 > 現太良高校教育課程表

平成27年度教育課程【平成27年度入学生】開設科目一覧表

佐賀県立太良高等学校

教科	科目	標準単位	必修科目			選択科目			計	備考
			1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次		
各学科に共通する各教科	国語	国語総合	4	4					4	必修科目
		国語表現	3					3	0.3	
		現代文B	4				3	3	0.6	2, 3年次継続履修
		古典B	4				2	3	0.5	2, 3年次継続履修
		◎日本語教養	2				2		0.2	
		◎文章入門	2					2	0.2	
		◎文字・言語力基礎	1				1		0.1	1年次又は2年次に選択
	地理歴史	世界史A	2	2					2	必修科目
		世界史B	4				4	4	0.4, 8	2, 3年次継続履修又は、2年次に履修
		日本史A	2		2				0.2	地理Aとの選択必修
		日本史B	4				4	2.4	0.4, 6, 8	2, 3年次継続履修又は、2年次に履修
		地理A	2		2				0.2	日本史Aとの選択必修
	公民	◎地歴演習A	2					2	0.2	
	数学	現代社会	2			2			2	必修科目
		数学Ⅰ	3	3					3	必修科目 1年次又は2年次に履修
		数学Ⅱ	4				3	3	0.3, 6	2, 3年次継続履修又は、2年次に履修
		数学Ⅲ	5					5	0.5	数学Ⅱとの並行履修はできない
		数学A	2				2		0.2	1年次又は2年次に履修、数学Ⅰとの並行履修または数学Ⅰの履修年次の次年度に履修
		数学B	2				3		0.3	
		◎数学演習	2					2	0.2	
		◎ベクター数学	3				3		0.3	
		◎実用数学Ⅰ	3					3	0.3	2年次又は3年次に選択
		◎実用数学Ⅱ	3					3	0.3	
	理科	科学と人間生活	2	2					2	必修科目
		物理基礎	2		2				0.2	生物基礎との選択必修
		物理	4					4	0.4	物理基礎履修後に履修
		化学基礎	2				2, 3		0.2, 3	
		化学	4					4	0.4	化学基礎履修後に履修
		生物基礎	2		2				0.2	物理基礎との選択必修
		生物	4					4	0.4	生物基礎履修後に履修
◎生物演習		2					2	0.2		
◎自然と実験A		1					1	0.1	半期認定科目 2年次又は3年次のいずれかで1度選択	
◎自然と実験B		1					1	0.1	半期認定科目 2年次又は3年次のいずれかで1度選択	
保体	体育	7~8	2	3	2			7	必修科目	
	保健	2	1	1				2	必修科目	
芸術	音楽Ⅰ	2	2					0.2	選択必修科目	
	音楽Ⅱ	2				2		0.2		
	美術Ⅰ	2	2					0.2	選択必修科目	
	美術Ⅱ	2				2		0.2		
	書道Ⅰ	2	2					0.2	選択必修科目	
外国語	書道Ⅱ	2				2		0.2		
	コミュニケーション英語基礎	2				3		0.3	コミュニケーション英語Ⅰとの並行履修はできない	
	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3					3	必修科目 1年次又は2年次に履修	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4				3	3	0.3, 6	2, 3年次継続履修又は、2年次に履修	
	英語表現Ⅰ	2				2		0.2		
	英語表現Ⅱ	4				2	3	0.5	2, 3年次継続履修	
	◎ビジュアル英語	1				1		0.1	1年次、2年次又は3年次に選択	
◎実用英語	3					3	0.3			
家庭情報	◎家庭基礎	2	2					2	必修科目	
商業	◎社会と情報	2	2					2	必修科目	
	ビジネス基礎	2~4				2		0.2	1年次又は2年次に履修	
家庭	情報処理	2~4				3	3	0.3, 6	2, 3年次継続履修又は、2年次又は3年次に履修	
	簿記	2~5				4	4	0.4, 8	2, 3年次継続履修又は、2年次に履修	
	ビジネス情報	2~4					3	0.3	2年次又は3年次に選択	
	電子商取引	2~4					2	0.2	2年次又は3年次に選択	
	◎ICT活用基礎	1				1		0.1	1年次又は2年次に選択	
	子どもの発達と保育	2~6					2	0.2		
	生活と福祉	2~4				2	2	0.2, 4	2, 3年次継続履修又は、2年次に履修	
	服飾手芸	2~4						0.2	1年次又は2年次に選択	
	フードデザイン	2~6					3	0.3		
	体育	スポーツⅡ	1~13					2	0.2	2年次又は3年次に選択
スポーツⅥ		3~9					2	0.2	2年次又は3年次に選択	
美術	◎ニュースポーツ	2					2	0.2		
	ビジュアルデザイン	2~6					2	0.2		
音楽	◎クラフト	1					1	0.1	半期認定科目 1度のみ選択	
	◎音楽表現	2					2	0.2		
書道	◎実用書道	2					2	0.2		
	◎創作書道	1					1	0.1	半期認定科目 1度のみ選択	
総合	◎秘書実務	1~2					2	0.2		
	◎有明海学	2~4					2	0.2	2年次又は3年次に選択	
	◎手話	1~2				2		0.2	1年次、2年次又は3年次に選択	
	◎日本文化	1~2				1		0.1	1年次、2年次又は3年次に選択	
	◎グリーンデザイン	1~2					2	0.2	2年次又は3年次に選択	
	◎奉仕	1				1		0.1	半期認定科目 1年次、2年次又は3年次のいずれかで1度選択	
	◎郷土学習	1				1		0.1	半期認定科目 1年次、2年次又は3年次のいずれかで1度選択	
	◎栽培体験	1~2				1, 2		0.1, 2	半期認定科目：半期で1単位、通年で2単位 1年次、2年次又は3年次に選択	
	◎体験学習	1~9				1, 3		0.1~9	半期認定科目、各学年の修得単位の上限は3単位	
	校外学習活動	◎ボランティア活動	3						0~20	校外学習活動全体で20単位まで認定
◎就業体験		9							校外学習活動全体で20単位まで認定	
◎知識及び技能審査		20							校外学習活動全体で20単位まで認定	
◎スポーツ・文化活動		10							校外学習活動全体で20単位まで認定	
	◎ソーシャルスキル	学校設定				1	1	1	0.1, 2, 3	継続履修可
	総合的な学習の時間	3~6	1	1	2			4		
	ホームルーム活動		1	1	1			3		
	◎は学校設定科目									

(3) 新巖木高校の校時

考え方

- ・ JR 等のダイヤを考慮し、広域からの通学が可能な始業時間・終業時間を設定する
- ・ 多様な特性を持った生徒への配慮、及び遠方から通学する生徒にも、部活動等、十分な放課後の活動時間を確保するために、授業時間は 45 分とする
- ・ 平成 30 年度から、全校一斉に 45 分校時を導入する。(高 2、高 3 含む)

校時の検討

【新巖木高校 校時表(案 1)】

	45分授業
読書	～ 9:40
SHR	9:40 ～ 9:50
1校時	9:55 ～ 10:40
2校時	10:50 ～ 11:35
3校時	11:45 ～ 12:30
昼休み	12:30 ～ 13:15
4校時	13:15 ～ 14:00
5校時	14:10 ～ 14:55
6校時	15:05 ～ 15:50
掃除	15:50 ～ 16:05
SHR	16:05 ～

現太良高校校時を参考としたパターン
始業は唐津線上り(9:27)に合わせて9:40
に設定

<問題点>

終業時間が16:10頃となるため、16:16の唐津
線(上下線とも)に間に合わない可能性がある

【新巖木高校 校時表(案 2)】

	45分授業
読書	～ 9:45
SHR	9:45 ～ 10:00
1校時	10:05 ～ 10:50
2校時	11:00 ～ 11:45
3校時	11:55 ～ 12:40
昼休み	12:40 ～ 13:25
4校時	13:25 ～ 14:10
5校時	14:20 ～ 15:05
6校時	15:15 ～ 16:00
掃除	16:00 ～ 16:15
SHR	16:20 ～

案1を基に、JR唐津線の時間に合わせて、
始業・終業時間を余裕を持たせたパターン
朝の欠席生徒への対応や、放課後の面談等
の時間を確保することができる

<問題点>

- ・ 放課後の唐津線下りが17:25となるため、
帰りのSHR後1時間程度の空き時間が生じ
る
- ・ 放課後の部活動の開始時間が遅くなる

【新巖木高校 校時表(案 3)】

	45分授業
読書	～ 8:45
SHR	8:45 ～ 8:50
1校時	8:55 ～ 9:40
2校時	9:50 ～ 10:35
3校時	10:45 ～ 11:30
4校時	11:40 ～ 12:25
昼休み	12:25 ～ 13:10
掃除	13:10 ～ 13:25
5校時	13:30 ～ 14:15
6校時	14:25 ～ 15:10
SHR	15:10 ～

現巖木高校の45分授業を基にしたパター
ン

現行の校時であるため、新巖木高校が開校
した後の在校生(2,3年生)も別校時とする
必要がなく、職員の勤務時間も現行のまま
で運用可能

<問題点>

- ・ 鳥栖方面から通学する場合、6:42に出発と
なるので、不登校経験者や朝が弱い生徒にと
っては厳しい

現巖木高校 部活動時間： 4月～10月 16:20～19:30
 11月～3月 16:20～19:00

JR 巖木駅発着時刻

- ・ 朝 JR 唐津線上りは 8:04、**9:27 発**、下りは 8:23、9:10 発
- ・ 夕 JR 唐津線上りは **16:16**、16:53、17:25、18:09、18:44、19:54 発
 JR 唐津線下りは **16:16**、17:25、18:25、19:00、19:31、20:28 発

<参考>

【現巖木高校 校時表】

	50分授業	45分授業
読書	8:35 ~ 8:45	8:35 ~ 8:45
SHR	8:45 ~ 8:50	8:45 ~ 8:50
1校時	8:55 ~ 9:45	8:55 ~ 9:40
2校時	9:55 ~ 10:45	9:50 ~ 10:35
3校時	10:55 ~ 11:45	10:45 ~ 11:30
4校時	11:55 ~ 12:45	11:40 ~ 12:25
昼休み	12:45 ~ 13:30	12:25 ~ 13:10
掃除	13:30 ~ 13:45	13:10 ~ 13:25
5校時	13:50 ~ 14:40	13:30 ~ 14:15
6校時	14:50 ~ 15:40	14:25 ~ 15:10
SHR	15:40 ~	15:10 ~

【現太良高校 校時表：45分授業】

ホーム	9:30 ~ 9:45
1校時	9:50 ~ 10:35
2校時	10:45 ~ 11:30
3校時	11:40 ~ 12:25
昼休み	12:25 ~ 13:10
4校時	13:10 ~ 13:55
5校時	14:05 ~ 14:50
6校時	15:00 ~ 15:45
掃除	15:45 ~ 16:00
ホーム	16:00 ~ 16:05

<参考> 公共交通機関の状況

JR 唐津線下り・JR 長崎本線接続

JR唐津線下り(佐賀→西唐津)

H27.7.31現在

列車番号		5821D	5823D	5825D	5827D	5829D	5841D	5847D	5847D	5849D	5853D	5855D	5857D	5861D
佐賀	発	5:25		6:41	7:43	8:24	12:40	14:38	15:38	16:41	17:47	18:18	18:48	19:45
鍋島	発	5:29		6:45	7:47	8:28	12:46	14:43	15:42	16:45	17:51	18:22	18:53	19:49
久保田	発	5:33		6:51	7:52	8:33	12:52	14:49	15:48	16:50	17:56	18:27	18:58	19:54
小城	発	5:39		6:57	7:59	8:39	12:58	14:55	15:54	16:57	18:02	18:35	19:07	20:01
東多久	発	5:45		7:04	8:06	8:54	13:05	15:02	16:01	17:08	18:09	18:42	19:14	20:11
中多久	発	5:49		7:09	8:11	8:59	13:10	15:07	16:05	17:13	18:14	18:47	19:19	20:16
多久	着	5:52	--	7:12	8:15	9:02	13:14	15:10	16:08	17:15	18:17	18:50	19:22	20:19
//	発	5:53	6:22	7:12	8:15	9:02	13:15	15:10	16:08	17:16	18:17	18:52	19:22	20:20
厳木	発	6:00	6:30	7:23	8:23	9:10	13:23	15:18	16:16	17:25	18:25	19:00	19:31	20:28
岩屋	発	6:04	6:34	7:28	8:27	9:14	13:28	15:22	16:20	17:29	18:29	19:04	19:35	20:32
相知	発	6:07	6:38	7:32	8:33	9:18	13:32	15:26	16:24	17:32	18:35	19:08	19:45	20:36
本牟田部	発	6:12	6:44	7:38	8:38	9:24	13:38	15:31	16:30	17:38	18:41	19:14	19:51	20:42
山本	発	6:16	6:51	7:44	8:43	9:28	13:43	15:36	16:34	17:42	18:45	19:19	19:56	20:46
鬼塚	発	6:21	6:57	7:49	8:48	9:33	13:53	15:41	16:39	17:47	18:51	19:28	20:01	20:51
唐津	着	6:26	7:02	7:54	8:53	9:38	13:57	15:45	16:44	17:52	18:55	19:32	20:06	20:56
//	発	6:32	7:09	7:55	8:56	9:41	14:02	15:56	16:44	17:52	==	19:40	==	==
西唐津	着	6:35	7:12	7:58	8:59	9:45	14:06	15:59	16:47	17:56		19:43		

◆鳥栖方面からの接続

列車番号	
鳥栖	発
新鳥栖	発
肥前麓	発
中原	発
吉野ヶ里公園	発
神埼	発
伊賀屋	発
佐賀	着
//	発
鍋島	発
久保田	発

	↑	↑	↑
列車番号	2825M	2829M	4001M
鳥栖	6:07	6:42	7:51
新鳥栖	6:11	6:46	7:55
肥前麓	6:13	6:48	7:57
中原	6:17	6:52	8:01
吉野ヶ里公園	6:21	6:56	8:09
神埼	6:24	6:59	8:12
伊賀屋	6:29	7:03	8:16
佐賀	6:33	7:08	8:20
//	7:01	==	8:21
鍋島	7:04		8:24
久保田	7:08		8:28

JR 唐津線上り・JR 長崎本線接続

JR唐津線上り(西唐津→佐賀)

H27.7.31現在

列車番号		5822D	5824D	5826D	5830D	5840D	5844D	5846D	5848D	5850D	5854D	5856D	5858D
西唐津	発	6:12	6:46	7:30	8:52	12:26	14:39	15:37	16:04	16:34	17:35		
唐津	発	6:16	6:51	7:33	8:56	12:36	14:47	15:46	16:24	16:52	17:42	18:14	19:23
鬼塚	発	6:21	6:57	7:39	9:02	12:42	14:53	15:51	16:29	16:57	17:47	18:20	19:28
山本	発	6:26	7:03	7:44	9:07	12:48	14:58	15:56	16:34	17:04	17:52	18:25	19:35
本牟田部	発	6:30	7:07	7:48	9:11	12:52	15:02	16:00	16:38	17:09	17:56	18:30	19:40
相知	発	6:38	7:14	7:54	9:18	12:58	15:08	16:06	16:44	17:14	18:01	18:35	19:45
岩屋	発	6:42	7:18	7:59	9:23	13:02	15:12	16:10	16:48	17:18	18:05	18:40	19:50
巖木	発	6:46	7:23	8:04	9:27	13:07	15:18	16:16	16:53	17:25	18:09	18:44	19:54
多久	着	6:54	7:30	8:12	9:35	13:14	15:26	16:24	17:00	17:33	18:16	18:51	20:02
〃	発	6:54	7:31	8:19	9:38	13:15	15:26	16:26	17:00	17:35	18:21	18:52	20:03
中多久	発	6:58	7:34	8:23	9:41	13:19	15:30	16:29	17:04	17:38	18:24	18:55	20:07
東多久	発	7:04	7:39	8:28	9:45	13:23	15:34	16:34	17:08	17:43	18:29	19:00	20:11
小城	発	7:11	7:46	8:39	9:54	13:30	15:40	16:40	17:15	17:49	18:35	19:06	20:18
久保田	発	7:28	7:52	8:45	10:00	13:41	15:49	16:49	17:21	17:55	18:41	19:20	20:25
鍋島	発	7:33	7:57	8:50	10:05	13:46	15:54	16:54	17:26	18:00	18:46	19:25	20:30
佐賀	着	7:38	8:01	8:54	10:09	13:50	15:58	16:58	17:30	18:04	18:49	19:29	20:35

◆鳥栖方面への接続

列車番号	
久保田	発
鍋島	発
佐賀	着
〃	発
伊賀屋	発
神埼	発
吉野ヶ里公園	発
中原	発
肥前麓	発
新鳥栖	発
鳥栖	着

	2862M	2866M	2868M	2940M	2872M	2942M	2878M
↓	16:00	16:58	17:38	18:38	19:15	19:38	21:11
↓	16:04	17:01	17:41	18:41	19:19	19:41	21:15
↓	16:07	17:05	17:44	18:44	19:22	19:44	21:18
↓	16:08	17:06	17:45	18:45	19:23	19:45	21:19
↓	16:12	17:10	17:50	18:50	19:27	19:50	21:23
↓	16:20	17:14	17:54	18:54	19:31	19:54	21:28
↓	16:23	17:21	17:57	18:57	19:34	19:57	21:31
↓	16:27	17:26	18:05	19:05	19:38	20:06	21:35
↓	16:31	17:30	18:09	19:09	19:42	20:10	21:39
↓	16:34	17:33	18:12	19:12	19:45	20:13	21:42
↓	16:37	17:36	18:16	19:16	19:48	20:16	21:45

昭和バス 唐津 - 佐賀線（「厳木駅前」バス停）

ア 佐賀（佐賀駅バスセンター） 唐津（唐津大手口バスセンター）

時	平日	時	土曜	時	日曜・祝日
6	49	6	49	6	49
7	33	7		7	
8	03	8	03	8	03
9	45	9	15	9	15
15	45	15		15	
16	52	16	15	16	15
17	52	17		17	
18		18	15	18	15
19	12	19		19	

イ 唐津（唐津大手口バスセンター） 佐賀（佐賀駅バスセンター）

時	平日	時	土曜	時	日曜・祝日
6	29 59	6	59	6	59
7	34	7		7	
8	34	8	34	8	34
9		9		9	
15		15	29	15	29
16	09	16	59	16	59
17	39	17		17	
18	54	18	29	18	29
19		19	59	19	59

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成17年4月 1日
一部改正 平成18年7月12日
一部改正 平成21年4月 1日
一部改正 平成27年4月 1日

(設置)

- 第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。
- 2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

- 第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。
- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関する事
 - 二 新高校の施設・設備に関する事
 - 三 新高校への円滑な移行に関する事
 - 四 前号に掲げるもののほか、検討を要する事

(組織)

- 第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。
- 2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。
 - 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。
 - 4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

- 第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。
- 2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

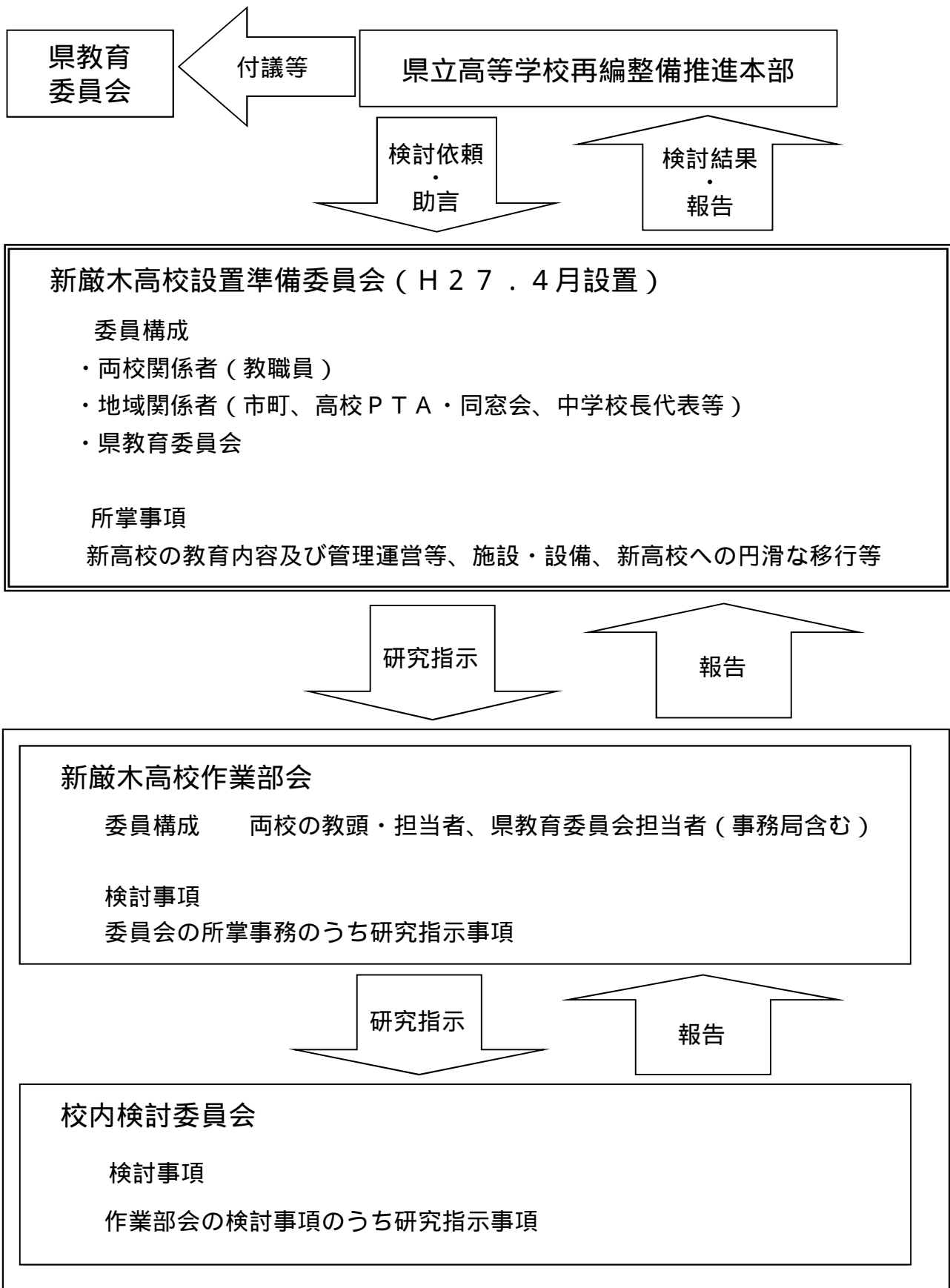
- 第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び県立高校再編整備推進室に置く。

(補足)

- 第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

別表（第1条関係）

委員会名	再編等対象校
伊万里地区新高校 設置準備委員会	伊万里農林高等学校、伊万里商業高等学校
杵島地区新高校 設置準備委員会	白石高等学校、杵島商業高等学校
新巖木高校 設置準備委員会	巖木高等学校
鹿島地区新高校 設置準備委員会	鹿島高等学校、鹿島実業高等学校
嬉野地区新高校 設置準備委員会	塩田工業高等学校、嬉野高等学校



資料6 新巖木高校設置準備委員会委員構成

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	巖木高等学校 校長	馬場 知之	委員長・学校関係者	
2	巖木高等学校 教頭	北村 敬	副委員長・学校関係者	
3	巖木高等学校 事務長	進藤 安恵	学校関係者	
4	唐津市教育長	稲葉 継雄	唐津市	市町関係者
5	唐津市 巖木市民センター長	天川 俊雄		
6	巖木高等学校 同窓会代表	米倉 憲一郎	地元関係者	
7	巖木高等学校 PTA代表	荒嶋 久美子		
8	唐津市立巖木中学校長	篠原 智文	中学校関係者	
9	副教育長（教育情報課長）	福田 孝義	県教委関係者	
10	教育政策課長	八谷 幸浩		
11	特別支援教育室長	馬場 浩輔		
12	教職員課長	福地 昌平		
13	学校教育課長	松尾 敏実		
14	保健体育室長	三上 智一		
15	教育支援課長	源五郎丸 靖		
16	県立高校再編整備推進室長	甲斐 照章		
17	県立高校再編整備推進室 教育企画監	岩村 彰		
事務局	巖木高等学校教諭	藤田 務		
	県立高校再編整備推進室 企画主幹	上赤 真澄		
	県立高校再編整備推進室 企画主査	高山 裕樹		